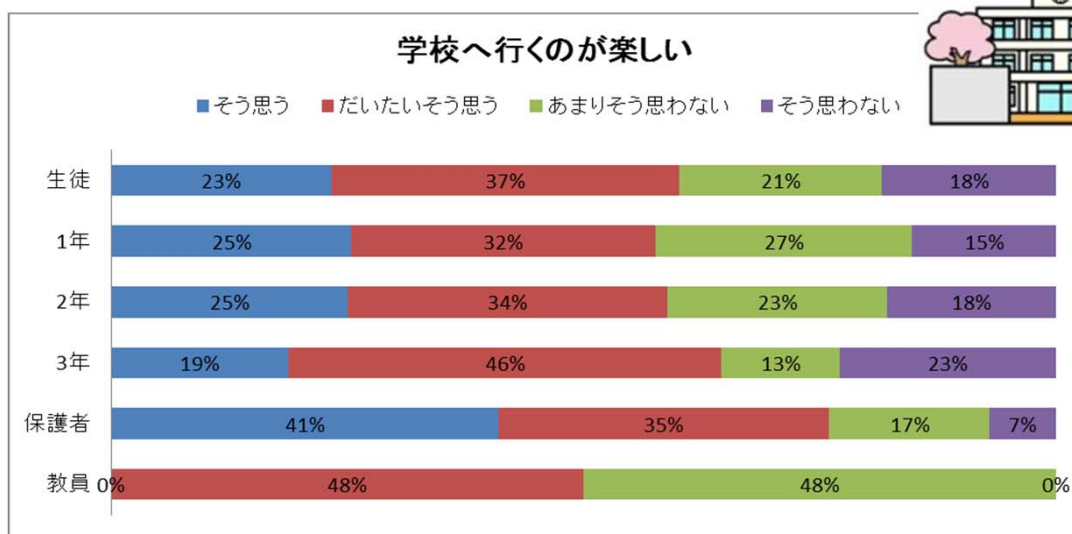


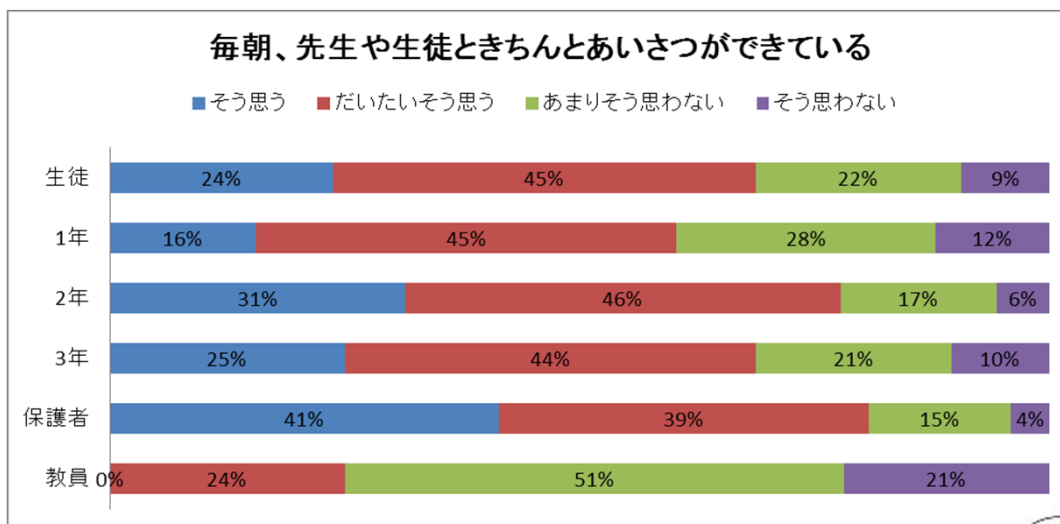
平成25年12月に学校教育自己診断を実施しました。

学校教育自己診断は教育活動の向上のために実施しています。アンケート項目は学校経営計画の重点項目とし、学校経営計画の達成状況を測定し、その結果を踏まえて、より良い学校作りを行います。

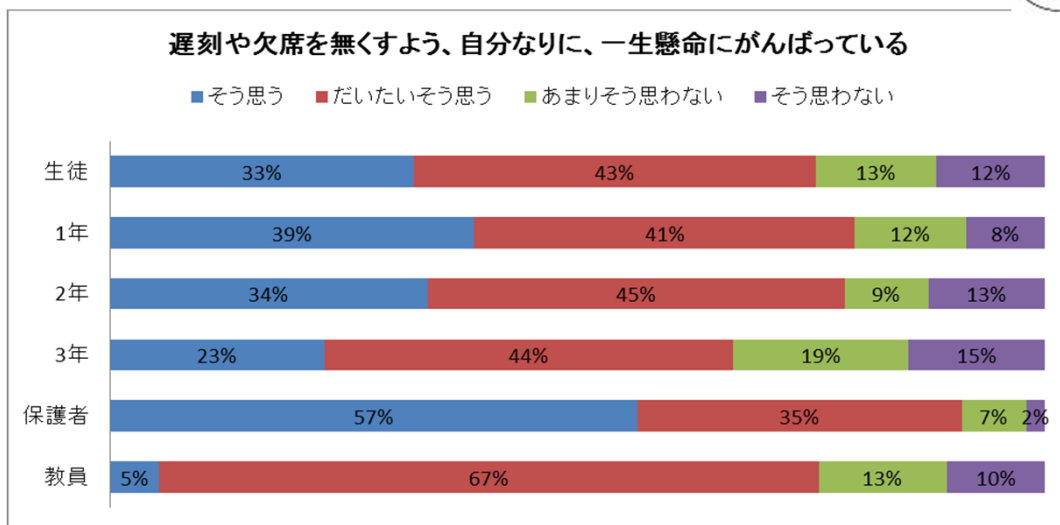
1



2

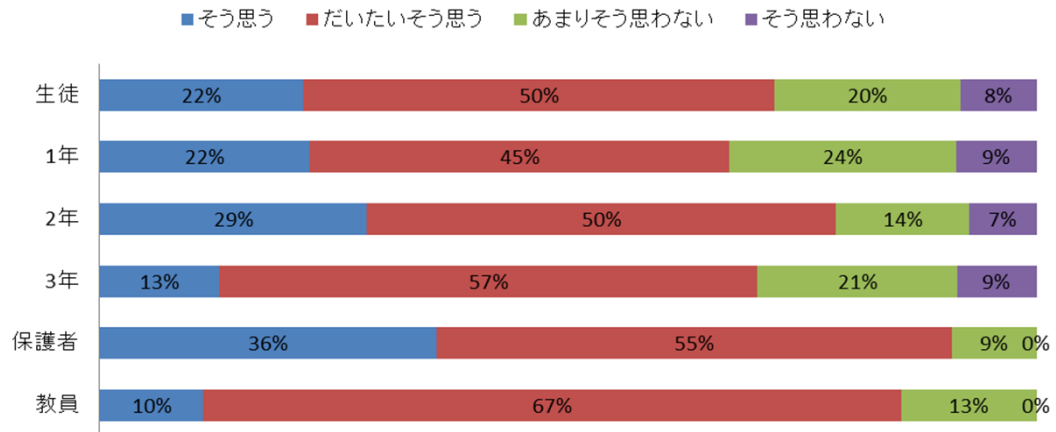


3



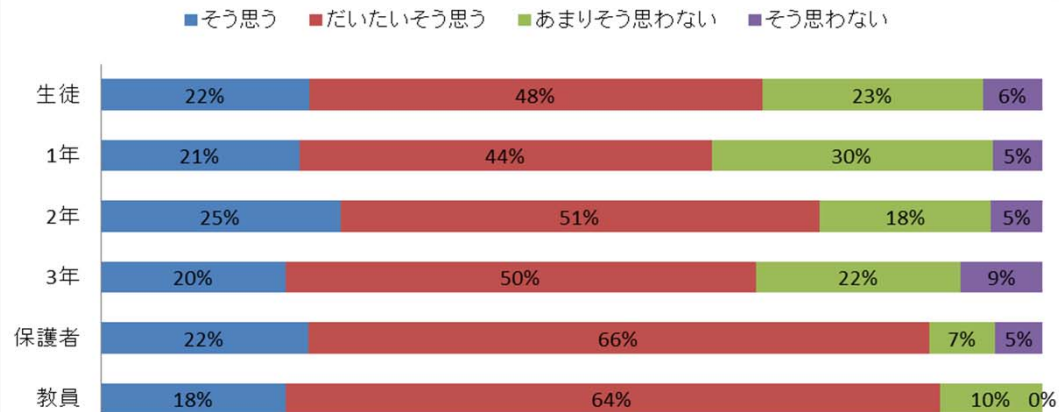
4

西淀川高校の授業は、わかりやすい



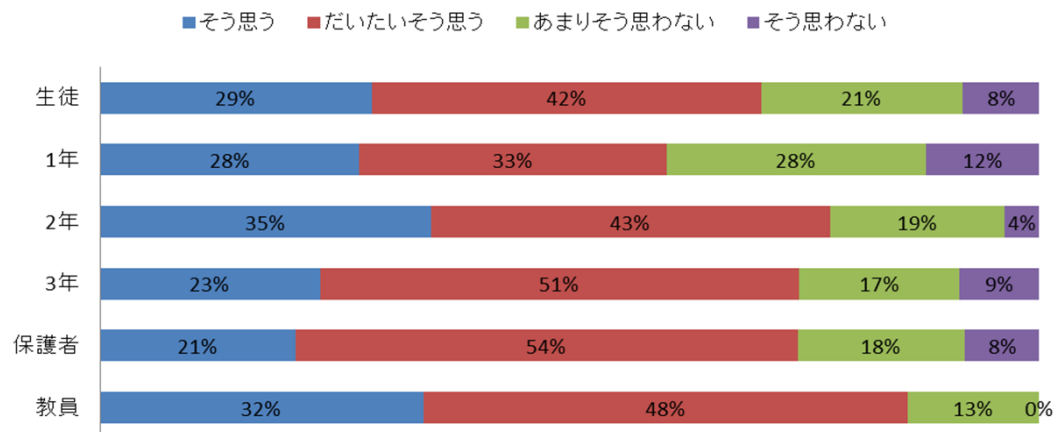
5

教え方に工夫をしている先生が多い

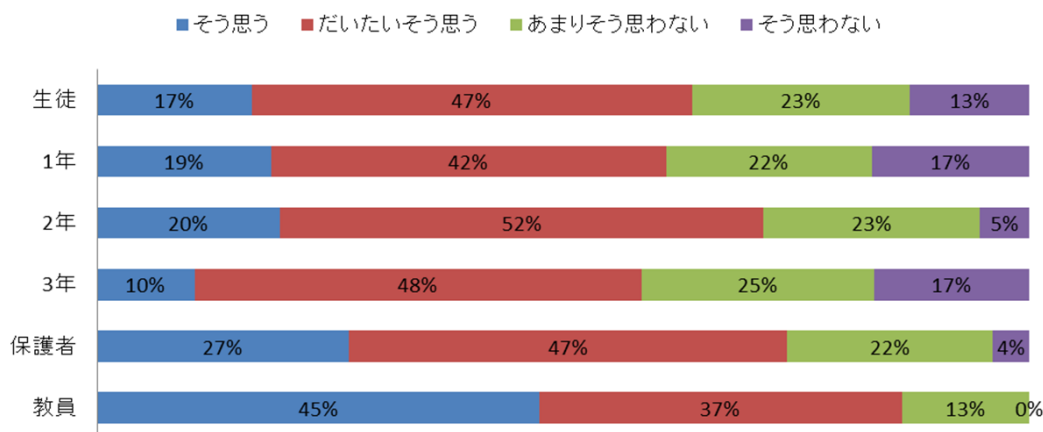


6

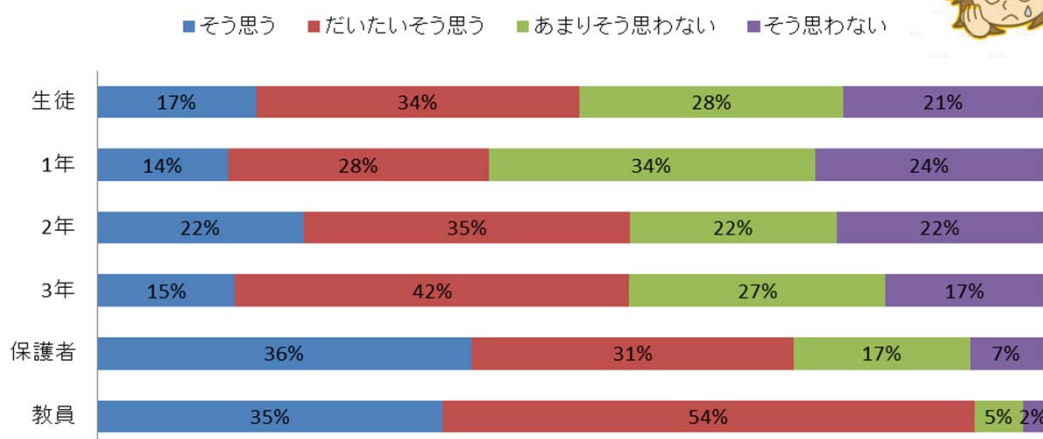
授業中、質問にわかりやすくこたえてくれる先生が多い



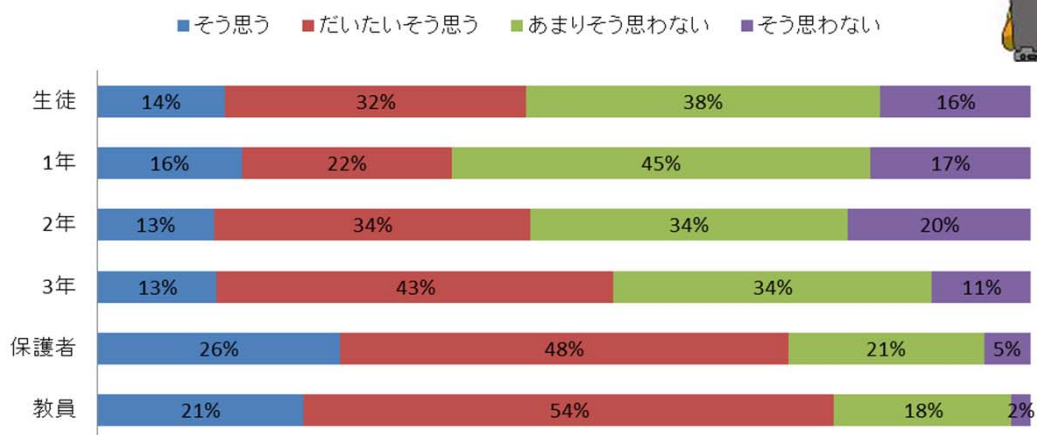
言葉づかいがていねいな先生が多い



悩みなどを相談しやすい先生がいる



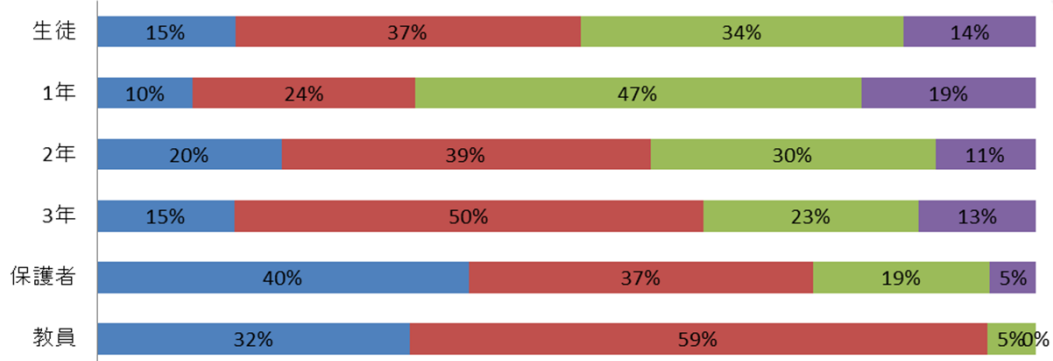
パソコンやDVDなどの視聴覚機器を用いた授業が多い



10

実験や実習、ワークショップなど、体験を通して学ぶ機会がある

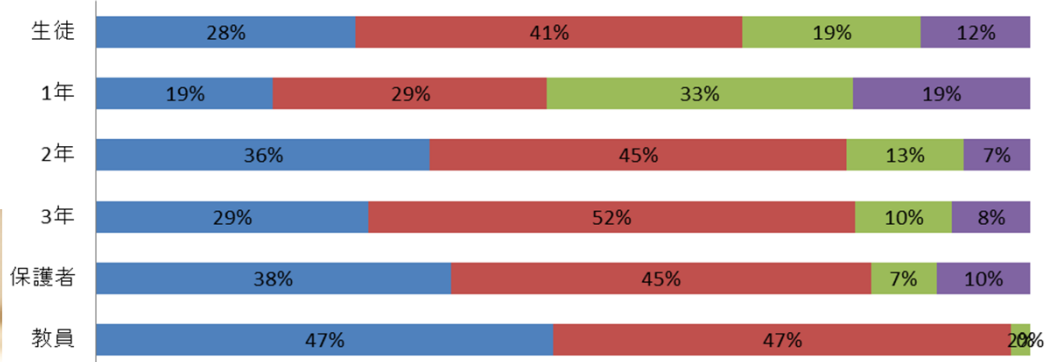
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



11

自分の進路について考える学習がある

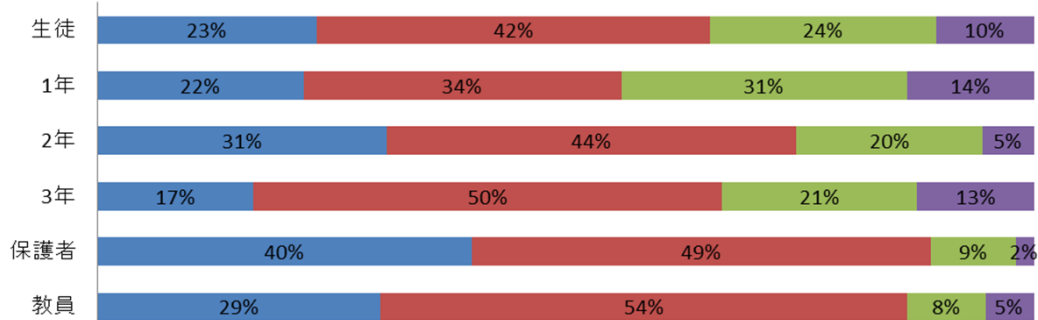
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



12

基礎学力を身につけるプリント学習(HR等で実施)は自分の学力向上に役立つ

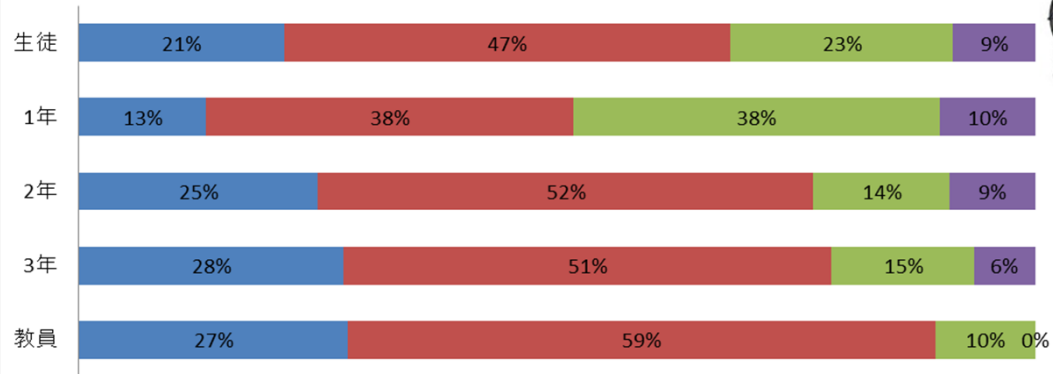
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



13

人権の大切さを学ぶ機会がある

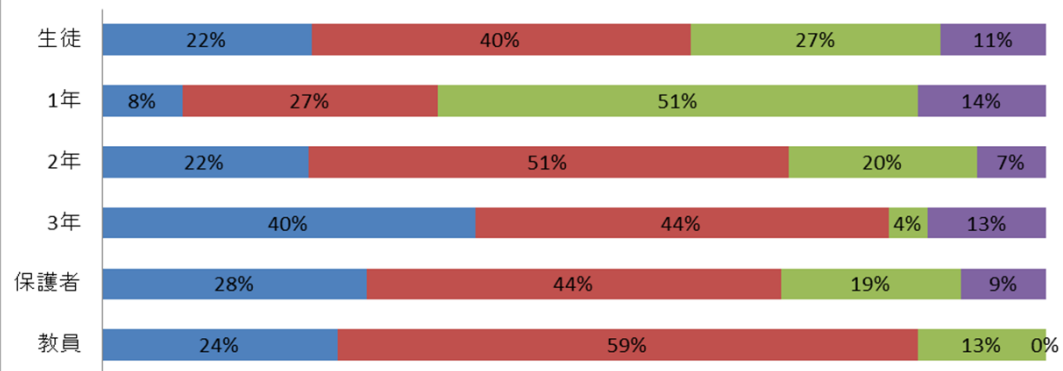
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



14

環境の問題について、学ぶ機会がある

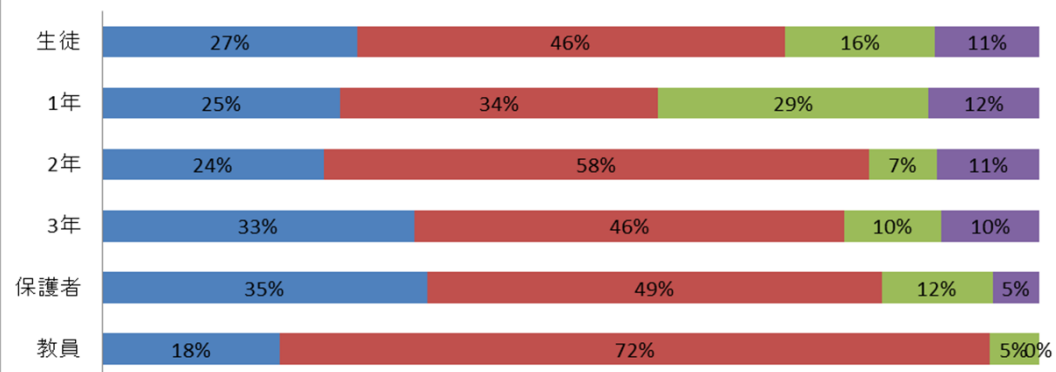
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



15

成績の出し方について、納得できる

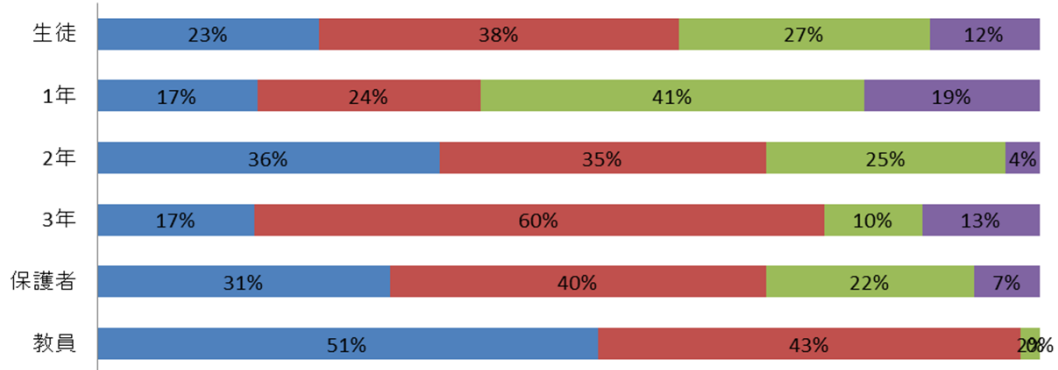
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



16

学校は、清掃や美化に積極的に取り組んでいて、きれいである

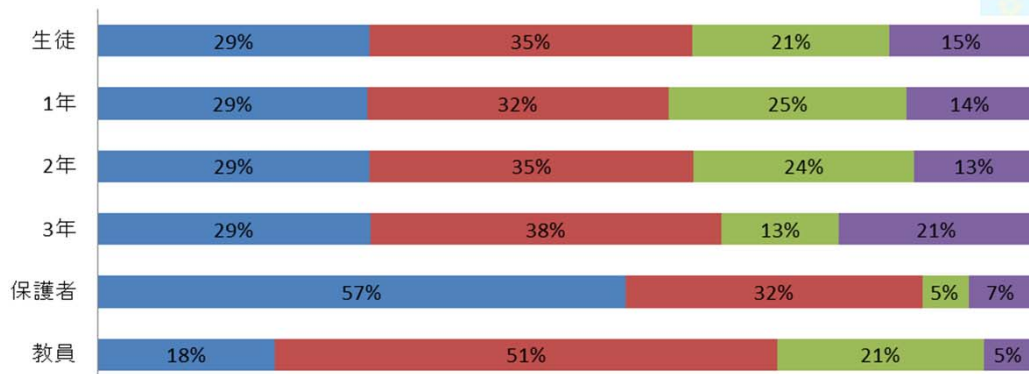
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



17

体育祭・文化祭・遠足などの行事は楽しい

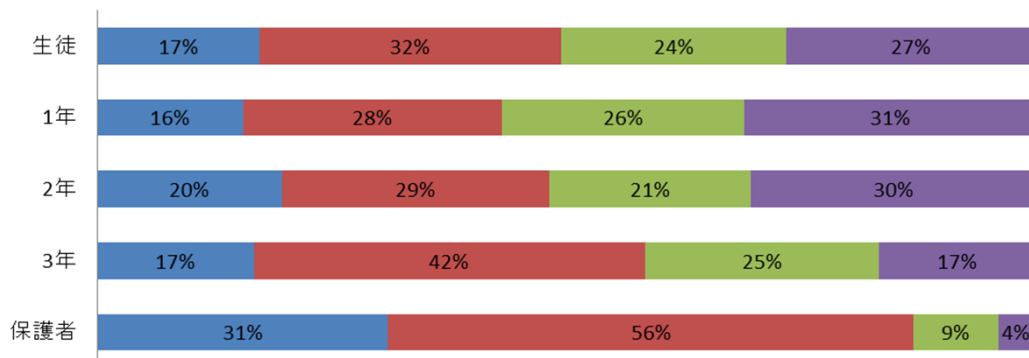
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



18

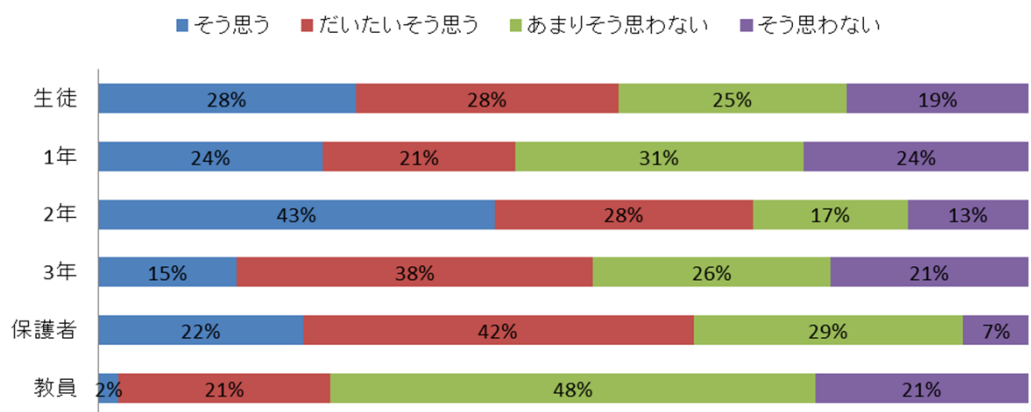
生徒指導について、納得できる

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



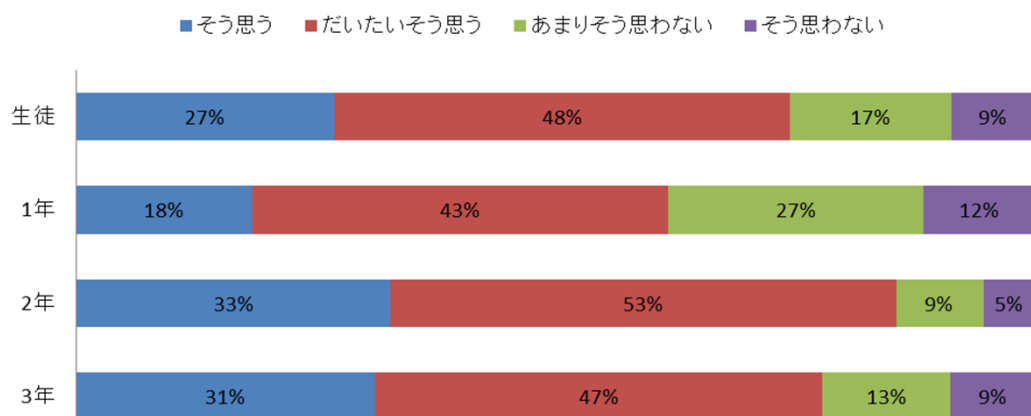
19

生徒指導について、厳しいと思う



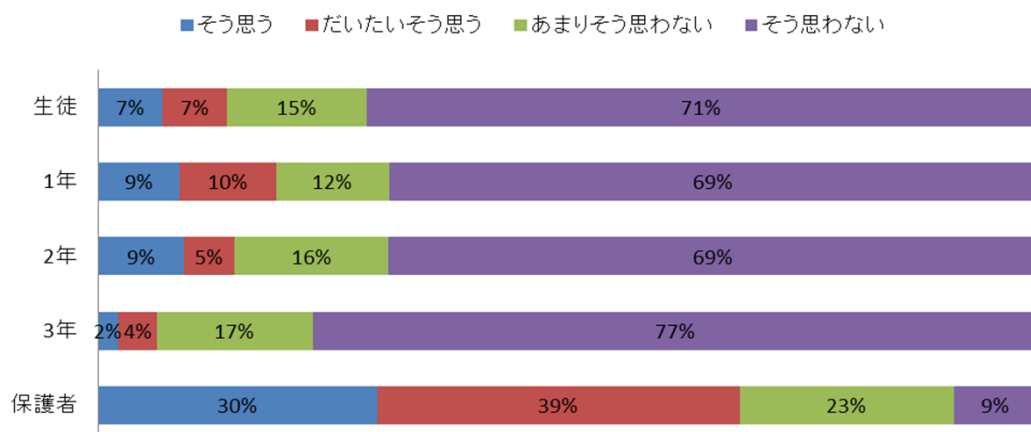
20

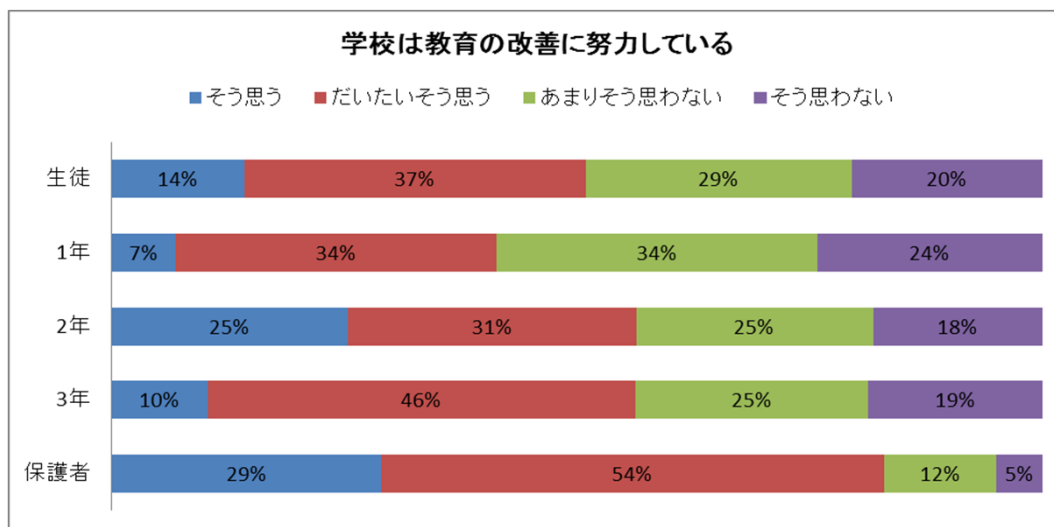
学校で事件・地震や災害がおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている



21

学校のホームページをよく見る





学校教育自己診断への分析（学校協議会での意見を含む）

【1】生徒の学校満足度（学校へ行くのが楽しい）は60%

昨年の54%よりは高まったが、もっと満足感を得られる学校づくりが必要である。そのためには、生徒間のより良い人間関係を醸成することも大切である。また、リーダーの育成も求められる。取組として、部活動の活性化、夏・冬フェスタといった学年を横断した縦割り活動を行う。また、体育大会や文化祭などの大きな行事を含め、生徒が中心となって彼らが成就感を得られる活動を展開する仕掛けも必要である。

【2】あいさつの評価は生徒と教員で乖離がある。

生徒のあいさつへの自己評価は高い（69%）、一方教員の評価は低い（24%）。廊下で元気に「おはようございます」と言ってくれる生徒はいるが、校内外の様子を見ると評価の低い教員の見立てが客観的であると思われる。あいさつは待っていてもできるものでない。教員が率先してあいさつすることはもちろんのことである。毎朝の教員による校門指導ばかりではなく生徒会の取組など、生徒自身の自覚と働きかけも必要である。

【4】「授業はわかりやすい」「教えかたに工夫をしている」は好評価である。

少人数での授業やチーム・ティーチングの授業が生徒に受け入れられている証拠でもある。タブレットや電子黒板を活用したICT授業展開も見られるようになり、さらに授業改善が進める。

【16】「西淀川はきれい」という外部評価なのに生徒の評価は低い。

たくさんのプランターの花がきれいというだけではなく、廊下も教室も清掃が行き届き「きれい」だが、生徒の視点は異なるようだ。意外に生徒たちは、教員の気づかないところも見ている。さらに点検を重ね美化に取り組むことにする。

【18、19】生徒指導についての意見が生徒、保護者、教員で異なる。

生徒の安全・安心を確保するためにはしっかりした生徒指導が必要である。それを生徒は「厳しい」と感じてしまうようだ。生徒の進路保障のためにも、服装・遅刻指導は不可欠あり、それを生徒や保護者にも理解してもらうための教員側のさらなる努力が必要である。